

2025 年度事業報告について

I 2025 年度活動総括

2025 年は、米国の強硬な通商政策や、ロシアや中東での紛争など、世界情勢の大きな変動が続き、地政学リスクが一段と高まった一年であった。わが国においては、大阪・関西万博が成功裏に終わり、秋には初の女性首相となる高市政権が誕生した。景気が緩やかな回復基調をたどった一方で、物価上昇率は高水準で推移し、個人消費に及ぼす影響への注視が必要な状況が続いた。

ショッピングセンター（SC）の売上高は、物価高や猛暑の影響を受けながらも堅調に推移し、当協会の統計調査開始以来、最高となる 33 兆円超（推計）を記録した。そのようななかで、当協会では、深刻化する人手不足、顧客の購買行動の変化、そして多発する災害や環境問題への対応などといった課題認識のもと、「2024 中期運営計画」の 2 年目にあたる 2025 年度は、協会活動の柱である「人材育成」「研鑽・交流」「情報収集・発信」の 3 つを軸に、「人手不足の改善」「変化の激しい時代の SC 運営」「社会・地域への貢献」を基本方針として、会員が抱える課題の解決に向けて取り組んだ。

「人手不足の改善」では、2024 年度にレポートで発表した「SC におけるテナント従業員確保のための取組み」の浸透を図るため、SC ビジネスフェア 2026 にてセミナーを実施し、ディベロッパーとテナントそれぞれの具体的な施策を紹介した。また、売上報告業務標準化への取組み途上にある会員に向けて、特設サイトの開設や勉強会を実施し、各社の取組みを後押しした。

「変化の激しい時代の SC 運営」では、第 10 回日本 SC 大賞・第 8 回地域貢献大賞の表彰を行い、受賞 SC の取組みを月刊誌やセミナー等を通じて発信した。また、遠隔地の会員も受講しやすいよう WEB ライブ形式の各種セミナーや勉強会を積極的に開催し、会員の人材育成をサポートした。SC ビジネスフェア 2026 では、セミナー会場の移動等により出展エリアを拡大した結果、新規出展 30 社を獲得するとともに、来場者数は前回より約 2,300 名増加し、3 日間で延べ約 39,200 人を集客した。さらに、協会のシンクタンクの機能を担う SC 経営士会は、単館 SC 研究会と連携し、単館 SC の課題解決に向けたアイデアソンを実施し、SC ビジネスフェア 2026 でその成果を発表した。

「社会・地域への貢献」では、支部が連携して相互に SC 視察会などを実施することで交流を深め、支部活動の一層の活性化を図るとともに、これらの取組みを社会・地域貢献の好事例として月刊誌を通じて発信した。また、SC が地域の防災拠点としての役割も求められていることを踏まえ、「危機管理対策セミナー（防火防災編）」や、“SC 防災の勘所”をキーワードにしたパネルディスカッションを開催し、会員の災害対応力の強化を図った。加えて、次世代人材育成のための冠講座を 2 大学で実施し、約 440 名の学生が履修した。

これらの活動を通じて会員価値向上に取り組んだ結果、会員数は 2025 年度目標 960 社を上回り、976 社となった。

Ⅱ 会議

1. 総会

第 53 回定期総会(2025 年 6 月 2 日)

2. 理事会

第 1 回理事会(2025 年 4 月 23 日)

第 2 回理事会(2025 年 6 月 2 日)

第 3 回理事会(2025 年 10 月 29 日)

3. 企画会議

第 1 回企画会議(2025 年 10 月 10 日)

第 2 回企画会議(2026 年 3 月 24 日)

Ⅲ 支部活動報告

支部名	2025 年度活動報告
北海道支部	<p>1. 2025 年度活動報告</p> <p>(1) 支部総会(2026 年 3 月 5 日・ホテルモントレエーデルホフ札幌)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 2025 年度北海道支部活動報告 2) 2025 年度北海道支部管内入退会報告 3) 2025 年度北海道支部収支決算見込 4) 2026 年度北海道支部活動計画案 5) 2026 年度北海道支部収支予算案 6) 支部会員増強への取組みについて <p>(2) 運営委員会</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 第 1 回運営委員会(8 月 21 日・㈱札幌都市開発公社 会議室) <ol style="list-style-type: none"> ① 2025 年度北海道支部事業計画およびスケジュールについて ② SC接客ロールプレイングコンテスト北海道大会について ③ 2025 年度北海道支部研修会について ④ 支部会員増強への取組みについて 2) 第 2 回運営委員会(12 月 2 日・㈱札幌都市開発公社 会議室) <ol style="list-style-type: none"> ① 2025 年度北海道支部総会・講演会・交流会について ② 2026 年度北海道支部活動計画について ③ 入会促進のお願いについて <p>(3) SC接客ロールプレイングコンテスト北海道大会 開催日/場所:10 月 9 日/新さっぽろアーキシティホテル 出場者数:21 名(前年 19 名) ファッション・物販部門・・・15 名/食品・飲食サービス部門・・・6 名</p> <p>(4) 支部主催セミナー・交流会</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) SC視察会in九州～「まちづくり」におけるSCの役割とは～(5 月 21 日～23 日) 視察先:①福岡市(ONE FUKUOKA BLDG.、福岡大名ガーデンシティ等) ②長崎市(アミュプラザ長崎、長崎スタジアムシティ) ③熊本市(アミュプラザくまもと、サクラマチクマモト) 参加者数:18 名 ※5 月 21 日 九州・沖縄支部運営委員との交流懇親会を開催 2) 講演会・交流会(2026 年 3 月 5 日・ホテルモントレエーデルホフ札幌) テーマ:「地域との連携～持続可能な社会を目指して」 講師:㈱セコマ 取締役会長 丸谷 智保 氏 参加者数:講演会 90 名、交流会 60 名
東北支部	<p>1. 2025 年度活動報告</p> <p>(1) 支部総会(2026 年 3 月 23 日・ホテルメトロポリタン仙台)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 2025 年度東北支部活動報告 2) 2025 年度東北支部管内入退会報告 3) 2025 年度東北支部収支決算見込 4) 2026 年度東北支部活動計画案 5) 2026 年度東北支部収支予算案 6) 支部会員増強への取組みについて <p>(2) 運営委員会</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 第 1 回運営委員会(7 月 10 日・ホテルメトロポリタン仙台) <ol style="list-style-type: none"> ① 2025 年度 東北支部事業計画およびスケジュールについて ② 秋の研修会(案)について ③ SC接客ロールプレイングコンテスト東北大会の運営について 2) 第 2 回運営委員会(11 月 26 日・ホテルメトロポリタン仙台) <ol style="list-style-type: none"> ① 2025 年度東北支部総会について ② 春の研修会(案)について <p>(3) SC接客ロールプレイングコンテスト東北大会 日時/場所:10 月 30 日/ホテルメトロポリタン仙台 出場者数:46 名(前年 42 名)</p>

支部名	2025 年度活動報告
東北支部	<p style="text-align: center;">ファッション・物販部門・・・14 名／食品・飲食サービス部門・・・32 名</p> <p>(4) 支部主催セミナー・交流会</p> <p>1) 秋の視察研修会・懇親会(11 月 26 日・仙台市内) ※東北支部・SC経営士会東北ブロック共催 視察先:「イオンモール仙台上杉」視察・講演 講演テーマ:「イオンモール仙台上杉オープンまでの道のり」 「JR フルーツパーク仙台あらはま」視察、りんご摘み体験・講演 講演テーマ:「JR フルーツパーク仙台あらはまの二期開発について」 交流会:ホテルメトロポリタン仙台イースト 3 階「FOREST KITCHEN with Outdoor Living 仙台」 参加者数:48 名</p> <p>2) 春の研修会・懇親会(3 月 23 日/ホテルメトロポリタン仙台) テーマ:「変化の時代を生き抜くための組織づくり」 講師:㈱Deportare Partners 代表取締役 為末 大 氏</p>
関東・甲信越支部	<p>1. 2025 年度活動報告</p> <p>(1) 支部総会(2026 年 3 月 16 日・ホテルメトロポリタン池袋)</p> <p>1) 2025 年度関東・甲信越支部活動報告 2) 2025 年度関東・甲信越支部管内入退会報告 3) 2025 年度関東・甲信越支部収支決算見込 4) 2026 年度関東・甲信越支部活動計画案 5) 2026 年度関東・甲信越支部収支予算案 6) 支部会員増強への取組みについて</p> <p>(2) 運営委員会</p> <p>1) 第 1 回運営委員会(7 月 15 日・日本ショッピングセンター協会会議室) ①2025 年度 関東・甲信越支部活動スケジュール ②研修会の開催について ③単館SC研究会 2025 年度活動計画骨子について ④SC接客ロールプレイングコンテスト東京大会／関東・甲信越大会について</p> <p>2) 第 2 回運営委員会(11 月 27 日・流山おおたかの森S・C 研修室) ①2025 年度関東・甲信越支部総会について ②入会促進のお願いについて</p> <p>(3) SC接客ロールプレイングコンテスト東京大会／関東・甲信越大会</p> <p>1) 東京大会 日時／場所:9 月 29 日～10 月 3 日／IMA ホール(光が丘 IMA) 出場者数:154 名(前年 148 名) ファッション・物販部門・・・91 名／食品・飲食サービス部門・・・63 名</p> <p>2) 関東・甲信越大会 日時／場所:11 月 4 日～7 日、10 日、11 日・ムーブホール(サンポップマチヤ) 出場者数:264 名(前年 245 名) ファッション・物販部門・・・196 名／食品・飲食サービス部門・・・68 名</p> <p>(4) 支部主催セミナー・交流会</p> <p>1) 第 1 回研修会(7 月 22 日・日本ショッピングセンター協会会議室&オンライン) ※関東・甲信越支部、総務・会員委員会(公共政策WG)共催 テーマ:外国人旅行者向け免税制度改正に関する説明会 第 1 部 免税制度改正関連 「外国人旅行者向け免税制度の見直しの概要」 講師:財務省主税局税制第二課 村田 淳浩 氏 「旅行者への返金を中心とした免税制度改正に伴う実務上の対応」 講師:全国免税店協会 事務局次長 井原 純子 氏 第 2 部 インバウンド動向関連 「最新の観光行政について」 講師:観光庁観光戦略課 課長補佐 安達 将太 氏 第 3 部 交流会 参加者数:99 名(会場 26 名、オンライン 73 名)</p> <p>2) 第 2 回研修会(11 月 27 日・流山おおたかの森S・C 研修室) テーマ:流山おおたかの森S・Cとらばーと柏の葉 ～TXがつなぐ、街、人、SCの未来～ 第 1 部 パネルディスカッション</p>

支部名	2025 年度活動報告
関東・ 甲信越支部	<p>・パネリスト 【流山おおたかの森S・C】東神開発(株) SC事業本部 千葉事業部長 小沼 俊一郎 氏</p> <p>【ららぽーと柏の葉】三井不動産商業マネジメント(株) ららぽーと柏の葉オペレーションセンター 所長 小川 裕子 氏</p> <p>・モデレーター (株)トリドールホールディングス 店舗開発本部 本部長 大久保 勇 氏</p> <p>第2部 施設内視察 第3部 交流会 参加者数:67 名</p> <p>3) 支部総会・講演会(3月16日・ホテルメトロポリタン池袋) 第1部 講演会 テーマ:サイバー攻撃被害の実態と復旧までの取組み ~経営者の決断と教訓~ 講師:(株)関通 代表取締役社長 達城 久裕 氏</p> <p>第2部 交流会 参加者数:89 名</p> <p>(5) 単館SC研究会</p> <p>1) 第47回(6月26日・日本ショッピングセンター協会会議室) 参加者数:99名(単館SC研究会44名、PRC情報研究会45名)</p> <p>①第3回「PRC情報研究会」との合同勉強会 「テナントの出店交渉のツボ-PART3-」 (空き区画情報、2025出店戦略・出店計画と新規事業、単館SCへの出店&出店稟議のツボ)</p> <p>②懇親会</p> <p>2) 第48回(9月30日・日本ショッピングセンター協会会議室) 参加者数:39名</p> <p>①プレゼンテーションおよび質疑応答 (株)カインズフードサービス、GMOフィナンシャルゲート(株)</p> <p>②台湾の商業施設視察会について</p> <p>③参加者による意見交換会</p> <p>④懇親会</p> <p>3) 「PRC情報研究会」との交流会(12月12日・アニヴェルセル表参道) 参加者数:140名(単館SC研究会35名、PRC情報研究会65名ほか)</p> <p>4) 第49回(12月19日・日本ショッピングセンター協会会議室) 参加者数:27名</p> <p>①プレゼンテーションおよび質疑応答 (株)カウンターワークス、(株)favy</p> <p>②台湾の商業施設視察会について</p> <p>③参加者による意見交換会</p> <p>④懇親会</p> <p>5) 台湾商業施設視察会(2月4日~7日) 単館SC研究会有志×PRC情報研究会 参加者数:26名(単館SC研究会15名ほか) 主な視察先: 台北(三井ショッピングパークららぽーと南港、誠品生活、信義エリア) 台中(ららぽーと台中、新光三越&大遠百貨、宮原眼科) 懇親会</p> <p>6) 今後の活動等に関する検討会(3月4日・日本ショッピングセンター協会会議室) ①現状分析のためのアンケート実施(案)について ②今後の進め方について 等</p> <p>7) 第50回(3月16日・ホテルメトロポリタン池袋) 参加者数:40名</p> <p>①台湾の商業施設視察会報告 ②今後の活動等に関する検討会について ③参加者による意見交換会</p>

支部名	2025 年度活動報告
中部支部	<p>1. 2025 年度活動報告</p> <p>(1) 支部総会(2026 年 3 月 4 日・AP 名古屋会議室)</p> <p>1) 2025 年度中部支部活動報告 2) 2025 年度中部支部管内入退会報告 3) 2025 年度中部支部収支決算見込 4) 2026 年度中部支部活動計画案 5) 2026 年度中部支部収支予算案 6) 支部会員増強への取組みについて</p> <p>(2) 運営委員会</p> <p>1) 第 1 回運営委員会(7 月 7 日・AP 名古屋会議室) ①2025 年度中部支部事業計画 ②セミナー・支部総会講演会企画案について ③SC接客ロールプレイングコンテスト中部大会について</p> <p>2) 第 2 回運営委員会(12 月 12 日・AP 名古屋会議室) ①2025 年度第 3 回運営委員会&支部総会の開催について</p> <p>(3) SC接客ロールプレイングコンテスト中部大会 日時/場所:9 月 10 日～12 日/JR ゲートタワーカンファレンス 出場者数:115 名(前年 110 名) ファッション・物販部門・・・83 名/食品・飲食サービス部門・・・32 名</p> <p>(4) 支部主催セミナー・交流会</p> <p>1) 支部主催セミナー・交流会(12 月 12 日・AP 名古屋会議室) テーマ:『地域と若者をつなぐ“商業実践教育”の力』 ～岐阜県高等学校商業達人カップにみる、人材育成と地域共創のリアル～</p> <p>プログラム: 第 1 部 セミナー プレゼンテーション①「岐阜県高等学校商業達人カップの概要と成果」 【講師】カワボウ(株) SC 営業本部 取締役本部長 武藤 治彦 氏 プレゼンテーション②「学生の視点」 【講師】岐阜県立岐阜商業高校 教諭 奥田 勝己 氏 プレゼンテーション③「学術的視点からの解説」 【講師】阪南大学 経営学部 教授 池澤 威郎 氏 ディスカッション</p> <p>第 2 部 懇親会 参加者数:70 名</p> <p>2) 記念講演・懇親会(3 月 4 日・AP 名古屋会議室) テーマ:『未来のためのふるさとづくり～18 歳までに故郷に恋をしよう～』 【講師】作家 クリエイティブディレクター 栗山 圭介 氏 参加者数:56 名</p>
近畿支部	<p>1. 2025 年度活動報告</p> <p>(1) 支部総会(2026 年 3 月 17 日・ホテルヴィスキオ尼崎)</p> <p>1) 2025 年度近畿支部活動報告 2) 2025 年度近畿支部管内入退会報告 3) 2025 年度近畿支部収支決算見込 4) 近畿支部運営委員について 5) 2026 年度近畿支部活動計画案 6) 2026 年度近畿支部収支予算案 7) 支部会員増強への取組みについて</p> <p>(2) 運営委員会</p> <p>1) 第 1 回運営委員会(7 月 23 日・グランフロント大阪 ナレッジキャピタルカンファレンスルーム) ①2025 年度近畿支部事業計画について ②SC接客ロールプレイングコンテスト近畿大会の運営について</p> <p>2) 第 2 回運営委員会(12 月 17 日・AP イノゲート大阪) ①2025 年度近畿支部総会及びフォーラム開催について</p> <p>(3) SC接客ロールプレイングコンテスト近畿大会</p>

支部名	2025 年度活動報告
近畿支部	<p>日時／場所:10 月 14 日～17 日 /ホテル京阪京橋グランデ 出場者数:145 名(前年 140 名) ファッション・物販部門・・・110 名／食品・飲食サービス部門・・・35 名</p> <p>(4) 支部主催セミナー・交流会 SCフォーラム&懇親会(3 月 17 日・ホテルヴィスキオ尼崎) プログラム: 第 1 部 講演 テーマ:「くずはモール街から KUZUHA MALL へ ～その変遷とまちづくりにおける役割について～」 講 師:㈱京阪流通システムズ 常務取締役 田中 栄吾 氏 第 2 部 懇親会 参加者数:46 名</p> <p>(5) SC研究推進委員会 1) 第 1 回SC研究推進委員会(4 月 23 日・コングレスクエア グラングリーン大阪) ①今年度のSC研究推進委員会活動方針について 2) 第 2 回SC研究推進委員会(7 月 24 日・グランフロント大阪 ナレッジキャピタルカンファレンスルーム) ①第 1 回SC研究会イベント(講演会)について ②第 2 回SC研究会イベント(SC視察会)について 3) 第 3 回SC研究推進委員会(12 月 17 日・AP イノゲート大阪) ①第 2 回SC研究会セミナー&懇親会について</p> <p>(6) SC研究会セミナー 1) 第 1 回 SC研究会セミナー&懇親会(10 月 3 日・JR 西日本 SC 開発(株) 研修室) 第1部 セミナー テーマ:協同組合型SCのサバイバル戦略 =新福井方式= 講師:ラブリーパートナー エルパ 専務理事 佐々木 国雄氏 第2部 懇親会 (ホテルヴィスキオ大阪1F「ヴェルデ カッサ」) 2) SC視察ツアー(11 月 18 日～19 日@福井県・富山県) ①テーマ:「単館SCの戦略」「地域連携・官民連携」 ②視察先:ラブリーパートナーエルパ、ファボーレ 3) 第 2 回 SC研究会セミナー&懇親会(2 月 17 日・ホテルヴィスキオ尼崎) プログラム: 第1部 セミナー テーマ:SCの新しい役割～生涯学習と地域価値～未来版公民館を内包したSC戦略 講師:ハーレイ・岡本氏 第2部 懇親会</p>
中国・四国支部	<p>1. 2025 年度活動報告 (1) 支部総会(2026 年 3 月 6 日・山陽 SC 開発(株) 中会議室) 1) 2025 年度中国・四国支部活動報告 2) 2025 年度中国・四国支部管内入退会報告 3) 2025 年度中国・四国支部収支決算見込 4) 2026 年度中国・四国支部活動計画案 5) 2026 年度中国・四国支部収支予算案 6) 支部会員増強への取組みについて</p> <p>(2) 運営委員会 1) 第 1 回運営委員会(7 月 31 日・山陽 SC 開発(株) 中会議室) ①2025 年度中国・四国支部事業計画 ②セミナー・支部総会講演会企画案について ③SC接客ロールプレイングコンテスト中国・四国大会について 2) 第 2 回運営委員会(12 月 4 日・エールエール A 館 会議室) ①2025 年度中国・四国支部総会の開催について</p> <p>(3) SC接客ロールプレイングコンテスト中国・四国大会 日時／場所:10 月 22 日、23 日／おかやま未来ホール(イオンモール岡山) 出場者数:66 名(前年 60 名) ファッション・物販部門・・・44 名／食品・飲食サービス部門・・・22 名</p>

支部名	2025 年度活動報告
中国・四国 支部	<p>(4) 支部主催セミナー・交流会</p> <p>1) 視察研修会・交流会(12月4日) プログラム: 第1部 概要説明(エールエール A 館 会議室) 第2部 視察(広島新駅ビル「ミナモア」) 第3部 交流会 参加者数:41名</p> <p>2) 記念講演会(3月6日・山陽 SC 開発(株) 大会議室) プログラム: 第1部 記念講演 テーマ:生成AI の進展と商業施設運営における活用可能性 講師:(株)松尾研究所 取締役副社長 金 剛 洙 氏</p> <p>第2部 懇親会 参加者数:49名</p>
九州・沖縄 支部	<p>1. 2025 年度活動報告</p> <p>(1) 支部総会(2026年3月4日・博多国際展示場&カンファレンスセンター)</p> <p>1) 2025 年度九州・沖縄支部活動報告 2) 2025 年度九州・沖縄支部管内入退会報告 3) 2025 年度九州・沖縄支部収支決算見込 4) 2026 年度九州・沖縄支部活動計画案 5) 2026 年度九州・沖縄支部収支予算案 6) 支部会員増強への取組みについて</p> <p>(2) 運営委員会</p> <p>1) 第1回運営委員会(7月25日・ソラリアステージ会議室) ①2025 年度九州・沖縄支部活動スケジュール ②SC接客ロールプレイングコンテスト九州・沖縄大会について ③秋の視察研修会・懇親会について ④2025 年度九州・沖縄支部総会・研修会について</p> <p>(3) SC接客ロールプレイングコンテスト九州・沖縄大会 日時/場所:9月25日～26日/西鉄ホール 出場者数:77名(前年67名) ファッション・物販部門・・・57名/食品・飲食サービス部門・・・20名</p> <p>(4) 支部主催セミナー・交流会</p> <p>1) 秋の視察研修会・懇親会(12月17日/グラングリーン大阪) プログラム: 第1部 施設説明 講演① テーマ:グラングリーン大阪の開発経緯、街づくりのコンセプト、将来構想について 講師:三菱地所(株) グラングリーン大阪室長 岩元 輝智 氏 講演② テーマ:商業全体の開発経緯、コンセプト、リーシングについて 講師:阪急阪神不動産(株) 都市マネジメント事業部 新産業創出・コンテンツ開発グループ 兼 梅田ビジョン推進グループ 課長補佐 金部 耕平 氏 講演③ テーマ:商業運営管理について 講師:阪急阪神ビルマネジメント(株) うめきた営業部 係長 三谷 和弘 氏</p> <p>第2部 バックヤード見学付き施設内視察 第3部 懇親会 近畿支部運営委員と交流(近畿支部からの参加者数:10社12名) 参加者数:視察+懇親会 22名、視察のみ 7名、懇親会のみ(近畿支部からの参加) 12名</p> <p>2) 研修会・懇親会(2026年3月4日/博多国際展示場&カンファレンスセンター) テーマ「九州におけるインバウンド動向」 講師:(一社)ジャパンショッピングツーリズム協会 事務局次長 訪日市場チーフアナリスト 神林 淳 氏 参加者数:57名</p>

支部名	2025 年度活動報告
九州・沖縄 支部	<p>(5)SCディベロッパー若手社員向け研修会(2月27日/ソラリアステージ会議室)</p> <p>プログラム:</p> <p>第1部 ミニセミナー</p> <p>第2部 参加者情報交換会</p> <p>講師: (株)東京ドームリテールマネジメント部 部長 田部井 一哉 氏</p> <p>参加者数: 14名</p>

IV 委員会活動報告

1. 総務・会員委員会

2025 年度 活動総括

総務・会員委員会では、主に次の項目について活動を行った。

- (1) 会員サービスの向上に努め、目標会員数 960 社を掲げ、年度末に 976 社となった。
- (2) 人材確保対策への取組みの推進
- (3) 支部、委員会、SC経営士会の各事業の進捗状況の把握および総合調整
- (4) 2025 年度予算管理の徹底
- (5) SC業界の変遷を踏まえた会員資格区分の検討
- (6) 公共政策に関する情報収集と各種要望・周知活動の実施
- (7) 令和 8 年度税制等改正要望活動の実施
- (8) 低炭素社会実行計画における新たな業界目標の進捗把握
- (9) 会員相互のネットワーク構築支援

(1) 会員募集について

2025 年度は、第一種正会員 3 社(7 社)、第二種正会員 23 社(25 社)、賛助会員 50 社(41 社)の入会があった〔()内は 2024 年度実績〕。理事や各支部、専門委員会委員の紹介のほか、会員企業のネットワークで協会活動を知るといったケースが入会につながっている。

入会目的は、第一種正会員ではSC業界の情報収集やネットワーク構築・拡大、同業他社との交流、第二種正会員ではディベロッパーとのネットワーク構築や店舗開発時の情報収集、人材育成・接客技術向上などで協会サービスを利用したいなどである。賛助会員では、AI 関連や決済システム、業務効率化システム系の企業が入会している。

入会勧誘施策については、入会問い合わせ企業への個別訪問やオンライン面談、支部主催セミナーへの勧誘、SCビジネスフェア 2026 の協会ブースでの協会案内などを実施した。

このように入会勧誘を行った結果、会員数は 2025 年度目標 960 社を上回り、976 社となった。

入退会数ならびに種別変更(2025 年 4 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日まで)

会員種別	2024 年度末	2025 年度				
		入会	退会	種別変更	期末	増減
第一種正会員(ディベロッパー)	299	3	8	±0	294	-5
第二種正会員(テナント)	269	23	20	0	272	+3
賛助会員	383	50	23	±0	410	+27
合 計	951	76	51	±0 (※)	976	+25

(※)会員種別の変更は、第一種正会員と賛助会員の間に各 1 社ずつ発生した。

(2)新会員と既存会員の交流(名刺交換会)について

- 1)新規入会のメリットの1つとして、月刊誌に新規入会企業紹介ページを設けた(2025年6月号、9月号、11月号、2026年3月号掲載)。また、協会イベントにて、企業紹介ページを印刷・配布し、既存会員への周知を図った。
- 2)2025年度入会会員と既存会員の交流促進を図るため、総務・会員委員会およびデジタルトランスフォーメーション委員会にて名刺交換会を行い、新会員各社は1分間のプレゼンテーションを行った。

●参加企業

<総務・会員委員会> 2025年8月4日

第一種: 一般財団法人千葉県まちづくり公社

第二種: 株式会社 GENDA GiGO Entertainment、ソフトバンク株式会社、ベストメディカルサービス株式会社、株式会社マルニ・ロジコム

賛助会員: イオンディライトコネク外株式会社、株式会社カウンターワークス、株式会社 KGRIT、株式会社三共、cynaps 株式会社、ZETA 株式会社、株式会社 Deto、株式会社 find、ボードライト株式会社、株式会社ポリグロットリンク、株式会社 MoveX、株式会社 USEN、株式会社ワールドサプライ

<デジタルトランスフォーメーション委員会> 2025年10月2日

第二種: 株式会社土屋鞆製造所

賛助会員: 株式会社アップルパーク、株式会社タカショーデジテック、ミライズエネチェンジ株式会社、株式会社 読売広告社、株式会社 RoboSapiens

(3) 人材確保対策特別委員会

1) ES・人材確保に関する定量調査の実施

2015年度より進めている人材確保対策の取組みの一環として、SCにおける人手不足の実態把握と施策検討を目的とした「ES向上・人材確保に関する定量調査」を、2025年度も引き続き実施した。

2) 「店舗運営マネージャーの集い」を初開催

テナント企業の店舗運営マネージャー(エリアマネージャー、スーパーバイザー等)は、本部と現場をつなぐ調整役として多様な課題を抱えるポジションである。

2025年度は、第二種正会員に向けた新たな取組みとして、店舗運営マネージャーを対象とした交流会を開催した。交流会では、「店舗の人材採用、定着、退職防止」「本部、店舗との円滑なコミュニケーション」に関する困りごと解決のヒントや各社の具体的な取組事例の共有を行った。

開催日時	2025年9月25日(木)14:20～18:00
場 所	協会会議室/オンライン併催 ※オンラインは第1部のみ
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・第1部:パネルディスカッション テーマ:「店舗の人材採用、定着、退職防止」「本部、店舗との円滑なコミュニケーション」 ※所属・役職はセミナー開催当時 【パネラー】 ダイアナ株式会社 執行役員 ダイアナ事業部 部長 古嶋 克也 氏 メーカーズシャツ鎌倉株式会社 執行役員 リテール本部 本部長 金子 恵理 氏 【ファシリテーター】 株式会社アザステ 代表取締役 福寿 直紀 氏 ・第2部:グループごとの意見交換会 ・第3部:名刺交換会
参加者	第二種正会員(テナント) 合計46名(会場32名、オンライン14名)

3) 人材確保対策に関するセミナー開催

SC ビジネスフェア 2026 において人材確保対策に関するセミナーを開催した。セミナーでは、採用強化や定着支援に向けた複数の取組事例が紹介されるとともに、ディベロッパーとテナントが連携して職場環境を改善していく必要性と取組みの重要性が共有された。

開催日時	2026年1月22日(木)10:00～11:00
場 所	パシフィコ横浜 アネックスホール(F202)
テ ー マ	日本SC大賞・地域貢献大賞受賞SCが取り組むディベロッパーとテナントの共創関係とは
登 壇 者	<ul style="list-style-type: none"> ※所属・役職はセミナー開催当時 【パネリスト】 ルクア大阪 JR西日本SC開発株式会社 代表取締役副社長 ルクア大阪事業本部長 高垣 知佳 氏 流山おおたかの森S・C 東神開発株式会社 SC事業本部 千葉事業部長 小沼 俊一郎 氏 【コーディネーター】 株式会社アダストリア 支店営業本部 執行役員 支店営業本部長 伊井 照 氏
聴講者数	150名(申込者ベース)

(4) 公共政策ワーキンググループ

1) 令和8年度税制改正および政策要望活動

物価高騰や人手不足などの社会課題への対応や、地域社会の持続的発展や都市再生を支援する税制改正および政策要望をとりまとめ、9月30日に国へ提出した。また、税制改正要望・政策要望の実現に向けて、10月には経済産業省幹部と国土交通省幹部にSC業界の現況を説明するとともに、意見交換を実施した。

2) 外国人旅行者向け消費税免税制度に関する共同提言

外国人旅行者向け消費税免税制度廃止の動きが懸念される状況を受け、全国免税店協会の呼びかけに応じ、消費税免税制度の堅持を求める共同提言を2025年8月に関係団体と連名で公表した。

3) SC業界における女性活躍推進方針の策定

政府の「女性の職業生活における活躍推進プロジェクトチーム」の報告を受けた経済産業省から、当協会に女性活躍推進のアクションプラン策定の要請があり、深刻化するSC業界のテナント従業員不足を踏まえ、労働供給拡大に向けた取組みとして「女性活躍推進に向けた取組方針」を取りまとめた。

4) 制度説明会の実施

SC業界に影響の大きいと思われる法改正等について、会員向け説明会・勉強会を以下のとおり開催した。

【開催概要】

- ・日 時: 2025年7月22日(火)
- ・テ マ: 外国人旅行者向け免税制度改正に関する説明会
- ・講 師: 財務省主税局・国税庁・全国免税店協会・観光庁のご担当者
- ・開催形態: 協会会議室/オンライン併催
- ・対 象: 会員限定
- ・聴 講 者: 99名

(5) 環境ワーキンググループ

1) SCにおけるエネルギー量実態調査の実施(2024年度実績対象)

2013年から当協会が参画している「カーボンニュートラル行動計画」の2030年目標について、2025年度もフォローアップ調査を実施した。

2) 制度説明会の実施

SC業界に影響の大きいと思われる法改正等について、会員向け説明会・勉強会を以下のとおり開催した。

【開催概要】

- ・日 時: 2025年10月27日(月)
- ・テ マ: 優良緑地確保計画認定制度に関する説明会
- ・講 師: 国土交通省都市局都市環境課・大和リース株式会社のご担当者
- ・開催形態: オンライン
- ・対 象: 会員限定
- ・聴 講 者: 27名

2. 人材育成委員会

2025 年度 活動総括

2025 年度のセミナー受講者数は、遠隔地や多忙な会員も受講しやすいよう、各セミナーでライブ配信を実施するなど、ニーズに応じた提供体制の整備を進めた結果、2024 年度の 839 名から 1,132 名と大幅に増加した。

SC接客ロールプレイングコンテストでは出場枠を拡大した結果、参加者数は 2024 年度の 835 名から 888 名へと増加し、より多くのテナントスタッフに活躍の場を提供することができた。さらに、「SC接客マイスター検定試験」の受験者も増加した。

(1) セミナー

月	日	曜日	セミナー名	セミナー受講者数			
				2024年度 実績(名)	2025年度 計画(名)	2025年度 実績(名)	計画比(%)
4	23	水	(基礎) SC基本管理運営セミナー (1日目)	44	45	35	78
4	24	木	(基礎) SC基本管理運営セミナー (2日目)	44	45	36	80
5	28	水	(基礎) SC基本開発セミナー	18	25	13	52
6	11	水	(基礎) フレッシュアップセミナー ※旧 SCの基礎を学ぶセミナー	18	35	72	206
6	18	水	(初中級) ディベロッパー向けSC出店契約書作成セミナー	19	25	24	96
6	25	水	(初中級) SCテナントリーディングセミナー	64	65	58	89
7	2	水	(初中級) 「SCのテナント管理」～これだけは知っておきたい～	25	28	14	50
7	8	火	(初中級) SCマーケティングセミナー	12	25	18	72
7	10	木	(初中級) SC施設管理セミナー	21	23	39	170
7	16	水	緑陰トップフォーラム	56	60	87	145
7	23	水	危機管理対策セミナー (防火防災編)	35	35	62	177
7	30	水	SC運営計画策定入門セミナー	14	20	7	35
8	27	水	SC運営業務のステップアップ (1回目/全6回)	9	23	15	65
9	3	水	SC運営業務のステップアップ (2回目/全6回)	14	23	16	70
9	10	水	SC運営業務のステップアップ (3回目/全6回)	9	23	23	100
9	17	水	SC運営業務のステップアップ (4回目/全6回)	20	23	8	35
9	24	水	SC運営業務のステップアップ (5回目/全6回)	11	23	19	83
10	1	水	SC運営業務のステップアップ (6回目/全6回)	10	23	24	104
10	8	水	SC契約実務セミナー (DV事例中心)	13	20	23	115
10	15	水	SC販促・イベントセミナー	17	25	42	168
10	21	火	(基礎) SC基本管理運営セミナー (1日目) 大阪	25	30	37	123
10	22	水	(基礎) SC基本管理運営セミナー (2日目) 大阪	25	30	37	123
10	23	木	グループワーク (SCマネージャーの役割) <開催中止>	8	16	—	—
10	28	火	SDGsセミナー	7	18	5	27
11	5	水	SC収支計画策定セミナー	35	45	34	76
11	10-11		秋晴れトップフォーラム	76	70	79	113
11	19	水	マーケティングセミナー応用編 【SC顧客戦略セミナー】	26	30	23	77
11	26	水	SCリニューアルセミナー	21	25	23	92
12	10	水	テナント向けクレーム対応実践セミナー	13	20	13	65
1	28	水	「テナントとの絆を深める接客ロールプレイング研修&コンテストと	9	25	8	32
2	4	水	テナント向けSC法律セミナー	8	20	21	105
2	10	火	SCテナント分析とコミュニケーション手法	9	30	33	110
2	17	火	SCディベロッパー・テナント SNS担当者向けセミナー <新規>	—	—	6	—
2	18	水	最新SC情報セミナー (2025年編)	9	25	18	72
2	25	水	危機管理対策セミナー (食の安全管理編)	8	28	20	71
3	4	水	退店問題対応・空き区画活用セミナー	6	28	8	18
セミナー計				758	1054	1000	95
※2024年度：14種・2025年度5種 アーカイブ受講計				81	85	132	139
合計				839	1139	1132	99

※各セミナー実績数はWeb受講含む

(2)SC接客ロールプレイングコンテスト

中部大会を皮切りに9月～11月にかけて支部大会を開催。399SCから合計888名が参加した。

大会名	日程	会場	2025年度	2024年度	2023年度	2019年度	2024年度	2023年度	2019年度
			参加者数	参加者数	参加者数	参加者数	対比	対比	対比
北海道大会	10月9日(木)	新さっぽろアーキテクスホテル	21	19	19	41	110%	110%	51%
東北大会	10月30日(木)	ホテルメトロポリタン仙台	46	42	39	61	109%	117%	68%
関東・甲信越大会	11月4日(火)～7日(木)、 10日(月)11日(火) 12月1日(金)・4日(月)	IMAホール (光が丘 IMA)	264	245	247	320	107%	106%	82%
東京大会	9月29日(月)～10月3日(金)	ムーブホール (サンポップマチャ)	154	148	140	201	104%	110%	76%
中部大会	9月10日(水)～12日(金)	JR ゲートタワーカンファレンス	115	111	112	118	103%	102%	97%
近畿大会	10月14日(火)～17日(金)	ホテル京阪京橋	145	140	137	191	103%	105%	75%
中国・四国大会	10月22日(水)・23日(木)	おかやま未来ホール (イオンモール岡山)	66	62	64	88	106%	103%	75%
九州・沖縄大会	9月25日(木)・26日(金)	JR九州ホール (JR博多シティ)	77	68	66	87	113%	116%	88%
		参加者数合計	888	835	824	1,107	106%	107%	80%
		参加SC数合計	399	399	395	531	100%	101%	75%

「第31回SC接客ロールプレイングコンテスト全国大会」の大賞・SC接客日本一に輝いたのは、九州・沖縄大会代表「アミュプラザ博多／アーバンリサーチ」の倉谷 侑里氏となった。倉谷氏には併せて経済産業大臣賞が贈られた。

- 【開催日】 2026年1月23日(金)
- 【会場】 パシフィコ横浜 会議センター1階 メインホール
- 【競技者数】 28人(食品・飲食・サービス部門10名、ファッション・物販部門18名)
- 【見学者数】 延べ2,100人(前回2,000人)

《入賞者一覧(敬称略)》

氏名	SC名	店名	支部(地区)
◆大賞・SC接客日本一及び経済産業大臣賞			
倉谷 侑里	アミュプラザ博多	アーバンリサーチ	九州・沖縄大会
◆食品・飲食・サービス部門			
【優勝】			
明知 里奈	アミュプラザ博多	スターバックス	九州・沖縄大会

【準優勝】			
保賀 雄介	エスパル福島	タリーズコーヒー&ティー	東北大会
◆ファッション・物販部門			
【優勝】			
松田 ちはる	ディアモール大阪	アーバンリサーチロッソ	近畿大会
【準優勝】			
瀧口 安樹子	三井アウトレットパーク札幌北広島	ナイキファクトリーストア	北海道大会
◆審査員長賞			
井上 裕文	阪急西宮ガーデンズ	SHIPS	近畿大会

※上記入賞者以外の競技者は「優秀賞」を受賞

(3) SC接客マイスター2025年度試験合格者数

年度	1級	2級	3級	合計
2025年度	20名	68名	51名	139名

※再受験者1級1名、2級2名。

(4) 海外研修

ツアー名	開催期日	訪問国・都市	参加者数		
			実績(a)	目標(b)	(a)-(b)
第147回	11/13～17(5日間)	ニューヨーク	34	30	4
第148回	2/22～26(5日間)	ロサンゼルス	18	25	-7

(5) 通信教育(申込人数)

(単位:人)

	2025年度 実績(a)	2025年度 予定(b)	比較増減 (a)-(b)	2024年度 実績(c)	比較増減 (a)-(c)	2023年度 実績(d)	比較増減 (a)-(d)
SC開発講座	157	180	-23	184	-27	197	-40
SC管理運営講座	404	457	-53	476	-72	473	-69
合計	561	637	-76	660	-99	670	-109

(6) テナントスタッフハンドブック

(単位:冊)

	2025年度			2024年度		2023年度	
	実績(a)	予定(b)	比較増減 (a)-(b)	実績(c)	比較増減 (a)-(c)	実績(d)	比較増減 (a)-(d)
SCテナントスタッフハンドブック	64	42	22	51	13	82	-18

(7) SCマネジメントブック

(単位:冊)

	2025年度			2024年度		2023年度	
	実績(a)	予定(b)	比較増減 (a)-(b)	実績(c)	比較増減 (a)-(c)	実績(d)	比較増減 (a)-(d)
SCマネジメントブック	84	82	2	94	-10	79	5

(8) SCアカデミー

第19期受講生 42名

- 4/3 : 第19期生開講式
- 4/10 : 講義開始「合宿研修」
- 11/14 : 講義終了
- 2/16～17 : 卒業論文一次審査 42編⇒12編
- 3/3 : 卒業論文二次審査 12編⇒6編
- 3/23 : 卒業論文最終審査 6編より最優秀賞、優秀賞、佳作を決定
- 4/3 : 修了式開催(卒業生 42名)

(9) SC経営士試験

第34期(2025年度)SC経営士試験の結果 52名が合格した。

(10) SC経営士更新講習

SC経営士資格 登録更新講習

年2回開催。ハイブリッド形式<会場:SC協会 会議室、Zoom システム>

<日程および参加者数>

	日程	会場受講	Zoom 受講	計
第1回	9月29日(月)	21	64	85
第2回	11月12日(水)	11	39	50
※更新対象者 153名		32	103	135

※更新講習を受講できなかったSC経営士(18名)への対応策:昨年同様、論文を提出(テーマ:20年後のSCとは)

(11) 冠講座

前期: 国土館大学(東京) 履修者数: 184名

後期: 流通科学大学(兵庫) 履修者数: 260名

3. 情報委員会

2025 年度 活動総括

(1) 総括

基幹媒体である月刊誌「SC JAPAN TODAY」(以下、月刊誌)では、「テナントリレーション」(5月号)や「地元店誘致」(7・8月合併号)といった実務的な内容から、「異常気象対策」(9月号)、「賃料収入以外の新たな収益獲得」(11月号)や「AI活用」(12月号)などの業界の新潮流を特集として取り上げ、会員のビジネスに活かしていただく情報の提供に努めた。

また、2025年3月号の誌面リニューアルを機に、「SC JAPAN TODAY2.0から2.5へ」と題して、A)誌面のさらなるカイゼン、B)「情報収集・企画」「制作」「提供」の観点から仕組みのカイゼンについて議論を行ってきた。2024年度以前の発行号に対する評価・見直しを実施し、2025年度発行号におけるカイゼンを行った。

広報活動においては、第10回日本SC大賞・第8回地域貢献大賞などの協会活動や業界動向をリリースや取材対応等を通じて積極的にPRするとともに、8月6日に夏季定例記者懇談会／会員企業広報・メディア交流会、12月16日に冬季定例記者懇談会を開催した。会員企業広報・メディア交流会では、新たな取組みとして、交流会前に会員企業が自社の取組みを紹介するPRタイムを設けた。

(2) 事業報告

1) 情報発信

① 月刊誌

< 定期発行 >

4 月号	5 月号	6 月号	7・8 月合併号	9 月号
第 49 回日本ショッピングセンター全国大会	テナントリレーション業務の基本と実践 ～信頼されるSC営業担当者へ～	接客アップデート ～これからの接客の形を考える～	決定!! 第 10 回日本SC大賞・第 8 回地域貢献大賞 / 地元店誘致とSCの魅力づくり	異常気象時代のSC運営最前線 ～集客・販促・商品戦略～
				
10 月号	11 月号	12 月号	1・2 月合併号	3 月号
“次のSCづくり”へのアプローチ	収益多様化への挑戦 ～場・ノウハウ・つながりを生かす～	SC×AI ～現在地を知り、未来への可能性を探る～	リアル店舗に挑戦するニュープレイヤー / 専門店での体験価値が“行きたいSC”をつくる	地域と取り組む観光施策 ～インバウンド多様化時代に向けて～
				

<独自調査を実施>

2025年11月号～2026年1・2月合併号では、特集に関して下記の調査を実施した。誌面のほか、ニュースリリース、冬季定例記者懇談会にて結果を報告した。

2025年11月号

アンケート調査：「SCにおける賃料収入以外の収益源創出の取り組み実態調査」

2025年12月号

アンケート調査「商業施設事業者における業務での生成AI活用の実態調査」

※(株)COUNTERWORKS(賛助会員)との共同調査

2026年1・2月合併号

アンケート調査「SC経営士が注目するサービステナントのトレンド調査」

<誌面・仕組みのカイゼン>

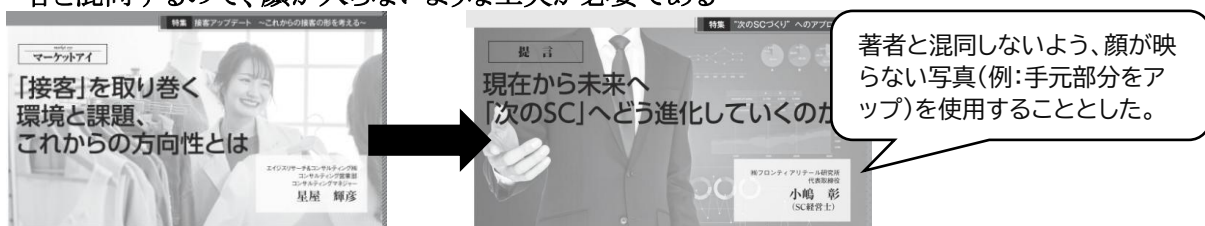
2025年3月号の誌面リニューアルを機に、「SC JAPAN TODAY2.0 から2.5へ」と題して、A)誌面のカイゼン、B)仕組み(「情報収集・企画」「制作」「提供」)のカイゼンについて議論を行ってきた。

A)誌面のカイゼン

委員会内で評価時間を設け、委員の皆様からのご意見・アイデアをもとに、2025年度発行号のなかで誌面のカイゼンを行った。

カイゼン例)

【ご意見】特集記事のタイトル部分の写真に関して、人物(顔)が写ったイメージ写真を利用する際、執筆者と混同するので、顔が入らないような工夫が必要である



B)仕組みのカイゼン

「情報収集・企画」「制作」「提供」の3つの視点で仕組みのカイゼンに取り組んだ。委員会では、「情報収集・企画」「提供」の2つに焦点を当てて議論を行った。また会員企業にも訪問し、担当者への月刊誌の利用状況や改善点などのヒアリングのほか、社内での共有の仕組みづくりについても議論した。

今後(2026年度以降)の方針としては、以下について注力し議論・検討を進めていくことに決定した。

「情報収集・企画」

【重点課題】特集を企画するうえで、現場の実務的な課題やニーズの吸い上げに苦慮

【検討施策】「月刊誌の内容をより深化させるための協会内外の組織等の連携」を模索

「提供」

【重点課題】月刊誌(紙・デジタル版)をもっと多くの方に活用してもらいたい

【検討施策】「月刊誌の認知アップ施策」と「デジタル版バックナンバー(会員企業向け/紙版の年間購読者向け)と検索機能の実装」について議論

なお、「制作」については、直接制作を行っている協会事務局が主導し「AI活用」を推進した。たとえば、生成AIを活用し、取材音声の文字起こし・要点まとめ、イラスト画像・イメージ写真の生成、文章の校正などを開始するなど、制作の効率化・制作コストの低減に努めた。

※2025年12月号の表紙イラストは画像生成AI(Adobe Firefly)で制作。

②メルマガ「JCSCNEWS」

毎月月末に通常号(協会活動、オープンSC、販売統計など)、同月中に「セミナー号」、月刊誌発行月1日に「SC JAPAN TODAY」号を配信している。

登録者数:約12,700ユーザー(2026年2月末時点) [前年同期:約12,600ユーザー]

2) 広報

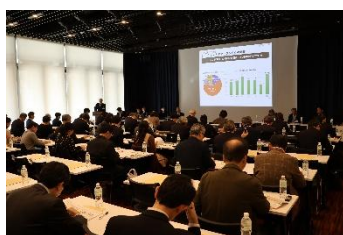
① 定例記者懇談会

【夏季定例記者懇談会／会員企業広報・メディア交流会】

日時	2025年8月6日(水) 17:00～18:00 定例記者懇談会(記者発表) 18:10～19:25 会員企業広報・メディア交流会
場所	浅草橋ヒューリックカンファレンス(東京・浅草橋)
内容	I. 2025年上期(1～6月)SC業界の動向 1. SC販売統計調査報告 2. オープンSCの概要と特徴 3. SCの取り組み紹介 II. 2025年下期(7～12月) オープン予定のSC等商業施設 III. 第10回日本SC大賞・第8回地域貢献大賞 IV. 第50回日本ショッピングセンター全国大会 1. 第31回SC接客ロールプレイングコンテスト 2. SCビジネスフェア 2026
参加	○メディア関係者:45社51名 主な参加企業:フジテレビジョン、日本経済新聞社、毎日新聞社、日刊工業新聞社、北海道新聞社、産業経済新聞社、共同通信社、織研新聞社、産業タイムズ社(商業施設新聞)、交通新聞社、東洋経済新報社、INFAS パブリケーションズ(WWD)、流通ニュース、ストアーズ社、総合ユニコム(プロパティマネジメント)、JTB パブリッシング(るるぶ)、スタート出版(オズマガジン)、昭文社(ことりっぶ)、サンケイリビング新聞社(シティリビング)など ○広報・宣伝担当者:35社62名(ディベロッパー19社36名、テナント16社26名) 主な参加企業:アトレ、イオンタウン、イオンモール、NTT アーバンバリューサポート、片倉工業、サンシャインシティ、JR西日本SC開発、JR東日本クロスステーション、西武不動産プロパティマネジメント、東急モルズデベロップメント、西銀座デパート、野村不動産、三井不動産、三菱地所・サイモン、三菱地所プロパティマネジメント、メトロプロパティーズ、横浜岡田屋、オンワードホールディングス、キュービーネット、キリンシティ、GENDA GiGO Entertainment、JTB、ダイアナ、大創産業、タペストリー・ジャパン(コーチ)、東京ソワール、ファイブフォックス、ブックオフグループホールディングス、マリークワント コスメチックス、リーガルコーポレーションなど
トピックス	○2025年6月より当協会の会長に就任した菰田正信(三井不動産㈱ 代表取締役会長)、副会長に就任した山口正人(JR西日本SC開発㈱ 取締役会長)、保元道宣(㈱オンワードホールディングス 代表取締役社長)より、メディア関係者に向けて就任のご挨拶と抱負について伝えた。 ○2025年4月に発表した「第10回日本SC大賞・第8回地域貢献大賞」については、「第10回日本SC大賞・金賞」を受賞した「ルクア大阪」を運営するJR西日本SC開発㈱の山口正人氏、「第8回地域貢献大賞(倉橋良雄賞)」を受賞した「流山おおたかの森 S・C」を運営する東神開発㈱の小沼俊一郎氏にご登壇いただき、各SCの特長的な取り組みを紹介していただいた。 ○記者懇談会終了後に、「会員企業広報・メディア交流会」を開催。新たな取組みとして、交流会前に会員企業が自社の取組みを紹介する参加者 PR タイム(募集先着3社3分)を設け、応募いただいた㈱アトレ、㈱サンシャインシティ、キリンシティ㈱の3社より、メディア関係者に向けて今後の新規開発・増床計画や注力している事業の取組みなどをPRいただいた。 【定例記者懇談会の様子】 【会員企業広報・メディア交流会の様子】
	  

【冬季定例記者懇談会】

日時	2025年12月16日(火) 11:00～12:10
場所	ワテラスコモンホール(東京・御茶ノ水)
内容	<p>I. 2026年 年頭所感</p> <p>II. SC業界の動向</p> <ol style="list-style-type: none"> 2025年SC販売統計調査報告 2025年オープンSCの概要 2025年SCの取組み紹介 2026年オープン予定のSC等商業施設 <p>III. 2025年度の協会活動トピック</p> <ol style="list-style-type: none"> 令和8年度税制等改正要望 “売上報告”の効率化に向けた取組み SC経営士会の取組み <p>IV. 第50回日本ショッピングセンター全国大会</p> <ol style="list-style-type: none"> SCビジネスフェア2026 第31回SC接客ロールプレイングコンテスト
参加	メディア関係者35名
トピックス	<p>○「II. SC業界の動向」では、2025年におけるSCの販売状況やオープン状況、注目すべきSCの取組みについて説明した。注目すべきSCの取組みについては、「収益多様化への挑戦」と「SC業界でも広がるAI活用」の2つのキーワードを挙げ、それぞれ代表的な取組み事例や独自調査の結果を報告。事例紹介では、(株)アトレの三瓶賢哉氏より自社で展開されているAI活用戦略「AIメンター」について説明いただいた。</p> <p>○「III. 2. “売上報告”の効率化に向けた取組み」では、実際に売上報告項目の削減に取り組まれている豊田まちづくり(株)の鬼頭成江氏より自社の取組みについて説明いただいた。</p>



②ニュースリリース配信

計25件(2026年2月末時点)

③メディア対応

<主な対応>

- ・6/2 第10回日本SC大賞・第8回地域貢献大賞 受賞者インタビュー取材(福井テレビ、福井放送)
- ・7/24 SC業界に関する取材(日本経済新聞社)
- ・10/30 アウトレットモールに関する取材(日本テレビ/ヒルナンデス! 7/31放送)
- ・12/8 会長取材(織研新聞社)
- ・1/23 第31回SC接客ロールプレイングコンテスト全国大会に関する取材(TBSテレビ/情報7days ニュースキャスター2/7放送)
- ・2/4 フードコートに関する取材(日本テレビ/news every.2/4放送)
- ・3/6 SCにおける販売状況に関する取材(テレビ東京/世の中お金で見てみよう～火曜ヨルの学べる経済～4/7放送予定)

4. 調査研究委員会

2025 年度 活動総括

(1) 総括

2025年度は、基本調査である「SC販売統計調査」および「SC賃料・共益費実態調査」を、SCディベロッパー企業各社のご協力により着実に実施した。

また、「SC白書」の発行や「統計データベース」の機能拡充など、国内外のSC情報の発信を強化し、SC業界の認知度向上に努めた。

(2) 事業報告

1) 『SC白書2025』の発行

- 発行日:2025年6月1日
- 内容:

I 2024年のSC業界動向

- 2024年オープンSC
- SCの現況
- SC賃料・共益費2024(2023年実績)調査結果 概要
- 人材確保に関する定量調査結果 概要
- SCにおけるエネルギー量実態調査2024結果 概要
- 「SCの地域貢献ガイドライン」フォローアップ調査結果 概要

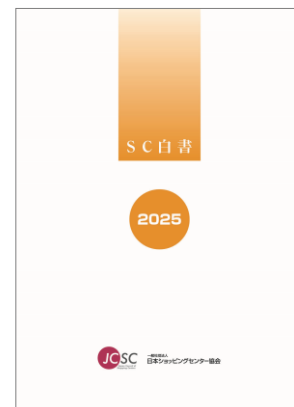
II 第10回日本SC大賞・第8回地域貢献大賞受賞SC一覧

III 海外のSC概況

- 米国の市場動向・SC概況
- 東南アジアの市場動向・SC概況(シンガポール・フィリピン)

IV 資料編

- 時系列データにみるSC
- 都道府県・政令指定都市別 SC数・店舗面積
- 都道府県・市区町村別SC一覧



2) 「統計データベース」の新機能追加

調査データを検索し、時系列データを取得できる「統計データベース」について、下記のデータを検索して取得できる機能を2025年12月に追加した。

- 販売統計……SC年間売上高の時系列データ
- SC数……都道府県別SC数・政令指定都市別SC数の時系列データ

※「統計データベース」は一般公開しているが、CSVダウンロード機能は会員限定

3) 定例調査・分析活動

① SCの開発計画、オープンに関する情報収集活動

- 計画SCの情報収集および速報版の提供【毎月会員専用HPに掲載】
- 大店立地法の届出状況の情報収集および提供【毎月HPに掲載】
- オープンSCの情報収集および提供【毎月HPおよび「SC JAPAN TODAY」に毎月掲載】

② SC販売統計調査

月次、四半期、上半期、下半期、年間調査を着実に実施し、毎月HP掲載およびプレスリリース配信、年間売上結果は「SC JAPAN TODAY」にも掲載。

また、調査の精度向上のため、地域や立地による偏りをなくすなどサンプル構成の適正化を考慮しながら、ディベロッパー企業各社に依頼を進め、約50SCの新規協力を得た。

③ SC賃料・共益費実態調査

契約形態別(個別徴収、総合賃料・賃料名目一本化)にて、2024年の月坪賃料、月坪共益費、総合賃料を調査し、10月17日(金)に協会HP(会員限定)にて調査結果を発表した。

また、2026年度の調査実施に向けて、時系列データの追加など、報告書の掲載内容の改善を検討した。

④ 定例記者懇談会にてSC動向を発表

a. 夏季

・2025年上期(1月～6月)オープンSC数:10SC(前年同期:18SC)

・2025年下期(7月～12月)は7施設のオープンを見込む

・2025年上期(1月～6月)オープンSCの主な特徴を下記のとおり紹介

I キーワード1『地域の生活利便性を向上させ、まちづくりの核に』

地域住民の生活利便性の向上を図る店舗を集積するとともに、交流の場を提供するなど、まちのにぎわい創出に貢献しているSCが目立つ。

II キーワード2『多様な機能を兼ね備え、国内外から集客』

商業だけでなく、ホテル、オフィス、カンファレンスなど、多様な機能を兼ね備え、国内外から幅広い層を集客する大型複合施設の開発がみられた。

b. 冬季

・2025年オープンSC数:18SC(前年:38SC)

・2026年は23施設のオープンを見込む

・2025年オープンSCの主な特徴を下記のとおり紹介

I キーワード1『衣・食・住・遊が充実したファミリー向け空間づくりが特徴の大型SC』

地域最大級の面積とテナント数を誇り、衣・食・住・遊の機能が充実した、全天候型の遊び場などを設置した子ども連れやペット連れも楽しめるファミリー向けの空間づくりを特徴とする大型SCが目立つ。

II キーワード2『多様なライフスタイルに対応する都市型複合施設』

大都市の駅直結立地で、多彩なテナントを集積し、多様なライフスタイルに対応する大型複合施設の開発がみられる。屋上や高層階に緑豊かな広場を設け、都心にありながらも癒される場も提供している。

4) 各種出版物の販売

<販売状況>(2025年4月～2026年3月)

1)「SC白書」(バックナンバー含む) 販売冊数 154冊 (前年同時期 131冊)

※電子版閲覧者数:8,365UU(前年同時期 8,943UU)

2)「SC賃料・共益費」(バックナンバー含む) 販売件数 82件 (前年同時期 67件)

3)「SCポイントデータ」 販売件数 13件 (前年同時期 9件)

5) 国際交流

・オーストリアの商業施設団体「Austrian Council of Shopping Places(ACSP)」(参加者12名)から、東京・京都・大阪のSC視察の協力依頼があり、会員企業にご協力いただき、計9施設で概要説明を実施した。

<ツアー概要>

日 程:2025年8月6日(水)～14日(木)(8泊9日)

参加者数:12名

視察先(説明実施施設):ダイバーシティ東京プラザ、東急プラザ原宿「ハラカド」、渋谷ヒカリエ、MIYASHITA PARK、渋谷PARCO、麻布台ヒルズ、イオンモールKYOTO、HEP FIVE、タイムアウトマーケット大阪

5. 全国大会実行委員会

2025 年度(第 50 回大会) 活動総括

(1)開催概要

- 1) 会期:2026 年 1 月 21 日(水)～1 月 23 日(金)
- 2) 併催イベント:チャレンジピッチ 2026～NEXT SC～
- 3) 出展者:合計 156 社(初出展 30 社) 418 小間 (前回 149 社・399 小間)

ゾーン	出展者数	小間数
ディベロッパー	39	135
テナント	33	95
DX・サポート	82	185
発見マルシェ	2	3
合計	156	418

- 4) 来場者数:延べ39,200名(前回 36,920名)

事前来場登録15,428名(前回 14,643名)、入場・二次元コード読取13,304名(前回 13,685名)

- 5) 特別協賛:技研トラステム(株)、JR 西日本 SC 開発(株) (JR 西日本グループ)、
東日本旅客鉄道(株) (JR 東日本グループ)、三井不動産(株) (三井不動産グループ)
株)メトロプロパティーズ、八重洲地下街(株)

- 6) オープニングテープカット

日時:2026 年 1 月 21 日(水) 9:50～

場所:展示ホールC側コンコース

※各出展ゾーンから代表 2 社ずつ 6 名、主催者代表 1 名の計 7 名にて実施。(敬称略)

出展者		
(株)京阪流通システムズ	代表取締役社長	松下 靖
野村不動産コマース(株)	代表取締役社長	鶴沼 孝之
カルチュア・コンビニエンス・クラブ(株)	代表取締役社長兼CEO	高橋 誉則
(株)GENDA GiGO Entertainment	代表取締役社長	二宮 一浩
(株)アソビスキー	代表取締役社長	近藤 学
SCキューブ(株)	代表取締役社長	吉田 隆之
主催者		
全国大会実行委員長	大林 修 (三井不動産商業マネジメント(株) 代表取締役社長)	

(2) セミナーおよび懇親パーティー

1) 有料セミナー(1月21日)

日時	1/21 15:00～16:00	1/21 16:15～17:15
テーマ 講師	50 回記念基調講演 「理念の共感と実践によるイオンの成長」 イオン(株) 取締役兼代表執行役社長 吉田 昭夫 氏	50 回記念特別講演 「渋谷 PARCO の進化の歴史と未来」 ～渋谷 PARCO を超えて世界のカルチャーコンテ ンツハブに～ (株)パルコ 常務執行役員 文化創造事業本部管掌 宇都宮 誠樹 氏
聴講者数(有料申込)		
ディベロッパー	118 人(70.7%)	
テナント	13 人(7.8%)	
サポート	33 人(19.8%)	
学生等	3 人(1.8%)	
計	167 人(100%)	

2) 懇親パーティー(1月21日):

参加者 364名(前回 373名)

3) 無料セミナー(1月21日～1月23日)

<出展者プレゼンテーション 23講座/展示ホール2階会議室:席数80>

No.	日時	会場	登壇企業・テーマ	聴講者数
①	1/21 10:30～ 11:00	E26	(株)favy 執行役員 最高業務責任者 森 陽介 氏 商業施設を変える新しい取り組み！ 次世代フードホールで実現する「シェア型」飲食フロア革命と収益最大化	53 人
②	1/21 11:00～ 11:30	E24	(株)リモートロックジャパン デジタルマーケティング室 コマーシャル担当 玉井 俊太 氏 社員証がスマホに？ スマートロックで実現する新しい従業員管理	28 人
③	1/21 11:30～ 12:30	E26	技研商事インターナショナル(株) 執行役員 市川 史祥 氏 GIS を用いた統計解析と機械学習による売上予測 ～予測精度と説明力の両立～	62 人
④	1/21 12:30～ 13:00	E24	(株)クリエイトリック 営業本部 運営管理部 販売促進担当 高井 憲務 氏 能美防災(株) 特販事業部 主査 佐々木 聰文 氏 (株)アソビスキー 営業マネージャー 小野 広太 氏 (株)キッズスター ごっこランド事業部 イベントチームリーダー 大野 哲氏 商圈エリアのファミリー根こそぎ集客！ 800 万世帯のファンが熱狂するSC向け体験型イベントとは？	74 人
⑤	1/21 13:00～ 14:00	E26	(株)ザイマックス 総合不動産サービス開発事業部 常務執行役員・総合不動産サー ビス開発事業部長 藤原 真 氏 (株)バローマックス 店舗運用部 執行役員・部長 番 直人 氏 ザイマックスが考える、商業不動産の「これから」の取り組み	75 人
⑥	1/21 14:00～ 14:30	E24	Trim(株) 営業 石川 直也 氏 ベビーケアルームのこと、軽視してませんか？ データと生の声で紐解く顧客ニーズのリアル	51 人
⑦	1/21 14:30～ 15:00	E26	(株)リゾーム 代表取締役 中山 博光 氏 (株)リゾーム データソリューション事業グループ 事業企画部 課長 浜名 智史 氏 長期データから見える。商業施設&専門店の今！	65 人

⑧	1/21 15:00～ 15:30	E24	(株)コマースデザインプロダクト プロジェクトマネージャー 杉浦 安希子 氏 (株)コマースデザインプロダクト クリエイティブ部 チームリーダー 浅生 淳平 氏 AIのあるサポート Part II - AIをSC販促に活かそう！	70人
⑨	1/21 15:30～ 16:00	E26	コンビウイズ(株) マーケティング室 主査 麻上 秀篤 氏 子育て世代を呼び込む！ SCにおける『イゴコチの良い』ファミリーフレンドリー空間設備の発展と展望	63人
⑩	1/21 16:00～ 16:30	E24	(株)クウゼン ビジネス本部 新規事業開発部 部長 片山 大介 氏 LINE ヤフー(株) (コーポレートビジネスドメイン ビジネス PF SBU) プロダクトマーケティングユニット PMM4 デビジョン 土居 佳南子 氏 LINE ヤフー社と語る、リピーターを生み出す LINE ミニアプリ活用術	48人
⑪	1/21 16:30～ 17:00	E26	(株)パニッシュ・スタンダード 代表取締役/CEO 小野里 寧晃 氏 『ES』から『EX』へ！～SCが課題とする「顧客 LTV」や「人材定着率」を上げる方法～	40人
⑫	1/22 10:30～ 11:30	E26	JR西日本 SC 開発(株) カンパニー統括本部 部長 舟本 恵 氏 【ディベロッパー限定】今、あるべきSCマーケティングとは ～コンサルティングサービスのご提案～	66人
⑬	1/22 11:30～ 12:00	E24	プロパティデータバンク(株) プロジェクト推進部 部長 花田 智 氏 今からでも間に合う！新リース会計基準対応の実践	43人
⑭	1/22 12:30～ 13:00	E24	グローリー(株) DXビジネス推進部 江本 樹希 氏 「基礎データの徹底活用」による、データに基づいて判断する施設運営とは	53人
⑮	1/22 13:30～ 14:00	E24	(株)ギックス Data-Informed 事業本部 Marketing & Sales Division Director 黒田 亮二 氏 LINE ヤフー(株) DXソリューション本部 APIソリューションマネジメント部 CX エグゼキューションチーム マネージャー 関野 聡史 氏 ライトユーザー育成を実現する「LINE×マイグル」の威力	44人
⑯	1/22 14:00～ 15:00	E26	(株)セイビ堂 代表取締役社長 阿部 慎也 氏 大空間のメディア化 体験を広告価値に変える次世代サイネージ戦略	74人
⑰	1/22 15:00～ 15:30	E24	新光会グループ 代表 新保 光一郎 氏 ベストメディカルサービス(株) 代表取締役社長 村上 太一 氏 社会課題解決に本気で挑む、新しいアイウェアショッブ ～視覚障害を防ぎ、眼の健康と視力を守る～	38人
⑱	1/22 15:30～ 16:00	E26	ソニーマーケティング(株) B2B ビジネス 2部ラージディスプレイソリューション課 テクニカルマーケティングマネージャー 小暮 雅也 氏 AIとサイネージで実現する、持続可能なSC価値向上	41人
⑲	1/22 16:00～ 17:00	E24	(株)GENDA GiGO Entertainment 執行役員 CDO 兼 DX 推進室長 松沼 雄祐 氏 (株)GROWTH VERSE Technology 部 VP of AI 石井 健資 氏 (株)GROWTH VERSE ミセシル/Zero 事業部 部長 松木 圭太郎 氏 GiGO の新規テナント出店・商品仕入における AI 活用 ～人流データを活用した店舗クラスタリング～	46人
⑳	1/23 10:30～ 11:00	E24	(株)クラウドポイント 取締役 渡辺 剛仁 氏 来館動機の再設計。サイネージが担う“行きたくなくなる理由づくり”	50人
㉑	1/23 11:30～ 12:00	E24	(株)乃村工藝社 ビジネスプロデュース本部 第二統括部 統括部長 山口 誠二 氏 (株)乃村工藝社 ビジネスプロデュース本部 建築プロデュース部 デザイナー 浅尾 とも子 氏 エコ&ヒーリングランドスケープコンサル 樹木医・環境造園家 代表 豊田 幸夫 氏 新たな体験と集客を生み出す建築の再生とグリーンへの取り組み	58人

②②	1/23 12:30～ 13:00	E24	ワンスアラウンド(株) コンサルティング事業部 部長 古賀 智映子 氏 実例紹介！現場ニーズに寄り添うCS・ES 企画とは	62 人
②③	1/23 13:30～ 14:00	E24	東京カートグラフィック(株) 企画室 地図地理エンタメプロデューサー むらまつ 和善 地図地理芸人 小林 知之 氏 地図地理芸人と地図プロデューサーが届ける！笑って学ぶ防災&地図地理体験	49 人

<会員限定:ビジネスアシスト/展示ホール2階会議室:席数80>

No.	日時	会場	登壇企業・テーマ	聴講者数
①	1/22 12:00～ 12:30	E26	(株)find 営業部 部長 奥津 喜暁 氏 AIで変える落とし物管理とfindが解決する社会課題の最前線	36 人
②	1/22 13:00～ 13:30	E26	(株)パルコスペースシステムズ 事業戦略部 課長 森川 隆賢 氏 (株)パルコスペースシステムズ 事業戦略部 リーダー 高山 和則 氏 ビルメンテナンスにおけるDX戦略の重要性—私たちが陥った4つの落とし穴(失敗)と克服の軌跡	58 人
③	1/23 14:00～ 14:30	E26	Cynaps(株) 代表取締役社長 岩屋 雄介 氏 GX時代のSC経営戦略—脱炭素が利益を生む新モデル	36 人
④	1/23 14:30～ 15:30	E24	株式会社 ipoca 執行役員 事業開発担当 & データサイエンティスト 団野 大樹 氏 静鉄プロパティマネジメント株式会社 常務取締役 セノバ事業部管掌 佐藤 和弘 氏 内部×外部データで描く商業施設の未来—MD計画と販促戦略の新潮流	65 人

<主催者企画:席数150>

No.	日時	会場	登壇企業・テーマ	聴講者数
①	1/22 10:00～ 11:00	アネックス ホール	総務・会員委員会／人材確保対策特別委員会 日本SC大賞・地域貢献大賞受賞SCが取り組むディベロッパ ーとテナントの共創関係とは	150 人
②	1/22 11:30～ 12:30	アネックス ホール	SCアカデミーテラス 施設管理者が集まり、挑んだ、防災課題の再発見 —チャートと対話からひもとく、“SC防災の勘所”—	150 人
③	1/22 13:00～ 14:00	アネックス ホール	デジタルトランスフォーメーション委員会 売上報告の効率化に向けた業界への提言	150 人
④	1/22 14:30～ 16:15	アネックス ホール	SC経営士会 アイデアソンでSCの未来をつくろう・かたろう！ —単館SC×SC経営士 未来創造チャレンジ—	112 人

(3)併催イベント「チャレンジピッチ 2026 ～NEXT SC～」

- 1) 概要:4回目となる今回は、スタートアップと事業者をつなぐピッチイベントを手がける New Commerce Ventures(株)との共催により実施した。当日は、ピッチ実施前に、New Commerce Ventures(株)による、視察レポート報告に続き、11組が登壇した。ピッチ終了後には聴講者との交流会を開催した。
- 2) 日時: 2026年1月23日(金) 11:00～
- 3) 会場:パシフィコ横浜 展示ホールE26(プレゼン会場)・E25(交流会会場)
- 4) 方法:応募総数19組のなかから選出された11組が登壇し、1組につき5分間のピッチを実施した。
- 5) インセンティブ:
 - ・ピッチ・ライブ配信(3月10日(火)15:00～17:05/1社10分)
 - ・『SC JAPAN TODAY』寄稿(5月号・6月号・9月号/1社1ページ)
- 6) 登壇企業

No.	日時	会場	登壇企業・テーマ	聴講者数
	1/23 11:00～ 13:30	E26	New Commerce Ventures(株) 共催 ① 株Cellest 「空いた時間・空いた店舗を、ライブコマースで新たな収益源に」 ② SHINSEKAI Technologies 「ソーシャルコマースを最大化させるエコシステム」 ③ 株moze 「毎日1.5億人が遊ぶ次世代SNS“Roblox”活用プロモーション」 ④ SkyBear(株) 「日本初! SC内インドアローンショーで圧巻差別化」 ⑤ 株Domuz 「SC・リテールに組み込む、生花による“良質なギフト体験”の実装」 ⑥ 株PieSystemsJapan 「『免税』を収益機会に変える、リアルな接点から始まる「旅ナカ」 個客購買戦略」 ⑦ 株Reelu 「訪日客売上を逃さない、接客人材のマッチングサービス」 ⑧ DXYZ(株) 「入館証もスマホも不要。入退館から決済まで顔だけでつなぐ「FreeID」」 ⑨ 株Unicode 「接客・販売に集中できる環境をつくる、店舗発物流の最適解「ShipOne」」 ⑩ 株komham 「廃棄物処理をもっとわかりやすく。微生物診断とスマートコンポストで変わる運用」 ⑪ CommerceX ホールディングス(株) 「商業施設が“地域の食品インフラ”になる—SCに食品ロス削減拠点をつくるという選択」	49人

6. デジタルトランスフォーメーション委員会

2025年度 活動総括

(1) 総括

2025年度は、2024年度に提言した「売上報告業務標準化」の普及とデジタル化環境の構築に取り組んだ。勉強会・交流会の開催を通じて現場の課題や懸念点を把握するとともに、SCビジネスフェア2026の無料セミナーでは先行事例を紹介し、標準化に対する理解促進を図った。また、協会HPに特設サイトを開設し、提言導入企業のインタビューなど先進事例を共有することで、会員企業への支援体制を強化した。

一方、将来のデジタル化環境(共通プラットフォーム構想)については、PoC(概念実証)実施を見据えてディベロッパーやシステム開発企業との議論を開始し、実装に向けた要件整理を進めたものの、財源確保と参画ディベロッパー企業の選定が進まず2025年度目標としていたPoC実施には至らなかった。

(2) 事業報告

1) 2025年度WG活動実績

【売上報告標準化普及WG実施内容】

全9回開催 WGメンバー:[テナント]3社10名 [ディベロッパー]7社24名

第6回	4月24日(木)	・2025年度活動計画について
第7回	5月29日(木)	・4項目化検討から導入までの取組みと具体的成果について
第8回	6月19日(木)	・売上担当者向け勉強会/交流会について
第9回	7月31日(木)	・売上担当者向け勉強会/交流会について
第10回	8月28日(木)	・売上担当者向け勉強会/交流会について
第11回	9月25日(木)	・売上担当者向け勉強会/交流会について
第12回	10月30日(木)	・売上担当者向け勉強会/交流会について
第13回	11月27日(木)	・SCビジネスフェア2026 主催者企画セミナーについて
第14回	1月29日(木)	・2026年度の活動について

【デジタル化WG実施内容】

全9回開催 WGメンバー:[テナント]3社7名 [ディベロッパー]7社14名

第1回	5月26日(月)	・共通プラットフォーム構築に向けた進め方について ・二度打ち解消に向けた対策案について
第2回	7月31日(木)	・ベンダーへの提案依頼書作成に向けての要件精査について
第3回	8月28日(木)	・ベンダーへの提案依頼書作成に向けての要件精査について ・PoC実施に向けたシステムベンダーへの協力依頼について
第4回	10月30日(木)	・システムベンダーへのヒアリングについて
第5回	11月27日(木)	・テナントPOSからの売上実績データ連携について ・PoCを進めるうえでの現在の課題整理と対応方針について
第6回	12月25日(木)	・共通プラットフォーム構想 類似事例紹介について
第7回	1月29日(木)	・12/25ディベロッパー分科会における検討事項と今後の進め方について
第8回	2月26日(木)	・共通プラットフォーム構想 他業界先行事例紹介について
第9回	3月27日(金)	・共通プラットフォーム構想の検討

2) 2024年度取組レポートの発行

2024年度までの本WGの成果として2024年度の取組み内容についてレポートを発行し6月総会にて発信を行った。本ツールは売上報告の現状を一目でコンパクトに理解できることから、各種会議や研修会等のほか、1月ビジネスフェアにおいても協会ブースにて掲出・配布を行った。(図1参照)

3) 売上報告業務効率化ポータル開設

売上報告業務効率化に関する機運醸成と業界への普及・定着化を図るため、最新動向や取組み事例、提言書や各種勉強会資料等が一元的にストックされたポータルを8月に開設。各社の取組事例や各種勉強会のお知らせ・開催レポート等に関する情報を随時発信している。(図2参照)



(図1) 2024年度取組レポート



(図2) 売上報告業務効率化ポータル

4) 売上報告業務担当者向け勉強会/交流会の開催

2024年に発表した提言の普及に向け、2025年度も前年に続き勉強会を開催した。昨年度の勉強会では、各企業が取組みを進める一方で、社内検討の段階でさまざまな課題(カベ)に直面している状況が明らかとなった。そこで2025年度は、「業務標準化案の自社への導入～社内のカベを突破する!!～」をテーマに、「売上報告業務標準化」の理解促進と導入支援を目的とした勉強会を、東京・名古屋・大阪の3都市で計4回開催した。参加者からは「導入プロセスが明確になった」「課題への具体的な解決策が得られた」など前向きな意見が寄せられた。

【プログラム】

第1部	15分	オリエンテーション
第2部	25分	導入企業担当者による事例紹介・質疑応答 【講演】(株)西銀座デパート/豊田まちづくり(株)
第3部	70分	グループディスカッション 【テーマ】業務標準化案の自社への導入～社内のカベを突破する!!～
第4部	40分	発表・全体ディスカッション
第5部	30分	名刺交換会・閉会

【参加者】

開催場所	東京【1回目】	東京【2回目】	名古屋	大阪
会場	SC協会 ※オンライン併催	SC協会 ※オンライン併催	中日ホール& カンファレンス	梅田センタービル
開催日	10月21日(火)	11月18日(火)	12月9日(火)	12月16日(火)
参加者数	[会場]8社・15名 [オンライン]9社・18名	[会場]11社・20名 [オンライン]10社・15名	8社・12名	10社・20名
合計	56社・100名			

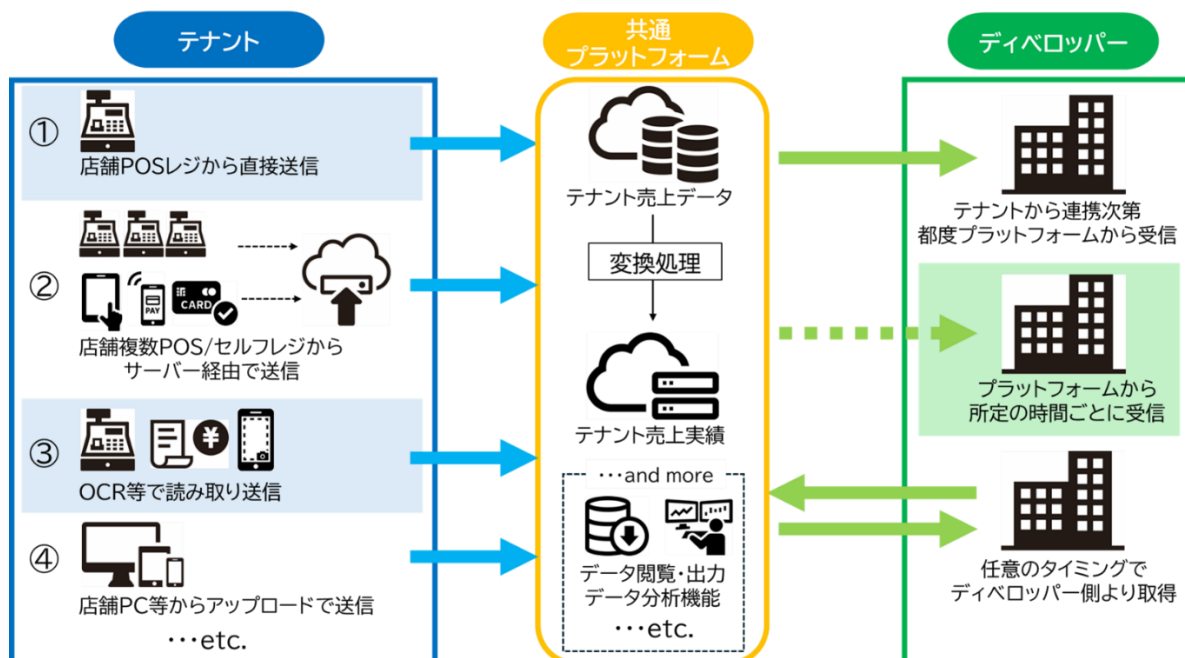
5) SCビジネスフェア2026での無料セミナーの実施

「売上報告業務標準化(売上報告項目数削減)導入にあたっての課題解決」をメインテーマにSCビジネスフェア2026において無料セミナーを実施した。

開催日時	2026年1月22日(木)13:00~14:00(60分)		
場 所	パシフィコ横浜 アネックスホール(F202)		
テ ー マ	売上報告の効率化に向けた業界への提言 ~導入事例と今後の方向性~ ① 業務標準化(売上報告項目数削減)の自社への導入における課題と対策 ② 共通プラットフォーム構想中間報告		
登 壇 者	※所属・役職はセミナー開催当時 【パネリスト】 株式会社西銀座デパート 総務部経理グループ グループ長 岩谷 一将氏 総務部経理グループ 課長 小瀧 浩昭氏 株式会社良品計画 ITサービス部コンシューマサービス店舗デジタル推進課 課長 佐野 崇氏 【コーディネーター】 株式会社大丸松坂屋百貨店 常務執行役員 デジタル戦略推進室長 兼 DX推進部長 林 直孝氏		
聴講者数	150人(申込者ベース)		

6) 共通プラットフォーム構想の検討

2025年5月にデジタル化WGを立ち上げ、年間計9回のWGを開催した。共通プラットフォーム構築に向けたPoCの実施を見据え、テナントPOSとのデータ連携の検討や、PoC実施上の課題整理に取り組み、実施に向けた方向性を確認した。また、複数のシステムベンダーや類似の取組みをしている他業界の関係者に対するヒアリングも実施した。



(図3) 共通プラットフォーム構想イメージ

7. SC経営士会

2025年度 活動総括

(1) 総括

2025年度は、幹事会を5回開催し、活動内容等について審議を行った。これを受けて、各グループ・ブロック活動、例会(夏・秋・春)、年次ゼネラルミーティング(1月)を開催した。

また、昨年度から引き続き年間研究として研鑽・研究グループを中心に「アイデアソンでSCの未来をつくろう・かたろう」を実施し、SC経営士会だからこそできる会社の垣根を越えたSC業界の課題解決に向けた取り組みを行った。

(2) 事業報告

1) 「例会」について

①「夏の例会」

開催日時 2025年7月18日(金) 13:30～16:00
参加人数 53名 オンライン参加 151名
会場形式 会場/オンライン併催
テーマ グラングリーン大阪に学ぶ 都市開発マネジメントの革新
内容 講演: Grand Green Osaka (GGO) の開発経緯、街づくりコンセプト、将来構想
＜内容＞ 1. グラングリーン大阪のまちづくり(全体・商業部分について) 20分
2. 商業全体 開発経緯・コンセプト・将来構想 20分
3. 商業運営管理 コンセプト・課題解決・差別化ポイント 20分
館内視察
懇親会

②「秋の例会」

開催日時 2025年11月28日(金) 13:00～17:15
参加人数 60名 オンライン参加 309名
会場形式 会場/オンライン併催
テーマ 「高輪ゲートウェイシティのまちづくりについて」
内容 【現地視察ツアー】
※(一社)高輪ゲートウェイエリアマネジメントによる、高輪ゲートウェイシティのまちづくりを現地で案内。
【講演会第1部】「高輪ゲートウェイシティのまちづくり」
講師: 東日本旅客鉄道(株) マーケティング本部 まちづくり部門品川ユニット マネージャー 出川 智之 氏
【講演会第2部】「ニューマン高輪の体験価値について」
講師: (株)ルミネ 執行役員 品川開発プロジェクト開業準備室長 兼 ニューマン高輪店長 鈴木 和馬 氏
【懇親会】

③「春の例会」

開催日時 2026年3月6日(金) 16:00～19:00
参加人数 45名
会場形式 会場
テーマ 「ヤッホーブルーイングから学ぶファンづくりとリアル価値」
内容 講演会
ビール製品体験会
懇親会
講師: 株式会社ヤッホーブルーイング 社長室 安孫子 篤史 氏、米原 翔馬 氏

2) 「年次ゼネラルミーティング」について

開催日時	2026年1月21日(水)10:30~12:00
会場	パシフィコ横浜 会議センター 503号室
プログラム	SC経営士会会長挨拶、副会長・ブロック長紹介、2025年度活動報告、2026年度活動計画、新SC経営士紹介(インタビュー)、参加者交流会
参加者	180名

3) SC経営士登録更新講習について

人材育成委員会からの依頼を受けて、SC経営士登録更新講習を企画し、2025年度SC経営士更新講習を会場・オンライン(Zoom)によるハイブリッド形式で行った。(135名参加)

4) SC経営士会【THE CIRCLE】の配信について

業務・広報グループでは『SC経営士会【THE CIRCLE】』の内容の一層の充実を図り、第36号(4月26日発行)、第37号(7月14日)、第38号(12月24日)の3号を配信した。

5) 年間研究発表について

SC経営士による会社の垣根を越えたアイデアソン「アイデアソンでSCの未来をつくろう・かたろう」を実施した。

単館SCが抱える課題の解決策と将来像について、3チームに分かれて検討を重ねた。最終成果発表会をSCビジネスフェア2026にて実施し112名の聴講者が集まった。

テーマ	チーム名	タイトル
青木島ショッピングパーク	青木島でTreasure Seekersチーム	共創サードプレイス組織による地域活性化 ～つながる青木島サークルで～
ニッケコルトンプラザ	アートカルチャー ブランディングチーム	二歩先の新しいモール世界観を創造します アートカルチャーSC ～思ったより自分参加ガタ～
ニッケコルトンプラザ	NIKKE COLTON PLAZA “学び”プロジェクトチーム	学びを通じたコミュニティ醸成の場 NIKKE COLTON MANABIPLAZA